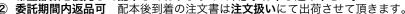
## 法政大学出版局◎新刊のご案内

2024年2月9日

① 配本希望部数をご記入のうえFAXにてご連絡をお願いしたします。 希望部数を優先して配本しておりますので、必ずお申し込み下さい。



- ★印の図書は特にご注目下さい。平積み頂ければ幸甚です。 3
- 小局ホームページより、「新刊のご案内」最新号がダウンロードできます。

部数

法政大学出版局 **2024年3月8日配本** 定価3520円(本体3200円+税)

A5判上製・300頁

## 古井義昭 著

誘惑する他者

ISBN978-4-588-49522-9 C3098

『白鯨』『ビリー・バッド』『バートルビー』をはじめ、安易な解釈を許さない数々の問題作で知られる19世紀米国の大作家メル ヴィル。 その主要作品群を精読し、誘惑すると同時に理解を拒絶する他者、 配達不能郵便(デッドレター)のモチーフ、孤独や 共同体や帝国主義的暴力の問題など、書くこと/読むことの根源に関わるテーマを徹底的に掘り下げる。読解への最高の手引 きとなる一冊、ここに誕生! 【アメリカ文学】

☆関連書:バーバラ・ジョンソン『批評的差異』、レベッカ・ウィーバー=ハイタワー『帝国の島々』(小局刊)。

部数

法政大学出版局 **2024年3月25日配本** 定価5280円(本体4800円+税) 法政大学大原社会問題研究所、 榎一江 編著

A5判上製·368頁

《法政大学大原社会問題研究所叢書》

無産政党の命運日本の社会民主主義

ISBN978-4-588-62548-0 C1331

20世紀の始まりとともに片山潜・安部磯雄・幸徳秋水らによって組織された社会民主党をその萌芽とし、労働者と農民の利益 を代表すべく活動した社会民主主義政党を無産政党と呼ぶ。大逆事件をはじめとする弾圧の苦難ののち、離合集散の時代を 経て、第一次世界大戦後の労農運動、学生・青年運動、女性運動といった社会のうねりのなかで第三極・社会大衆党へと集結 した政治潮流の全容を明らかにする政党論集。 【政治学】

☆関連書:法政大学大原社会問題研究所叢書『戦時期の労働と生活』『「論争」の文体』(小局刊)。

部数

法政大学出版局 **2024年3月25日配本** 定価6380円(本体5800円+税)

A5判上製・574頁

加藤泰史 編著

問いとしての尊厳概念

ISBN978-4-588-15137-8 C1010

これまで「尊厳」 概念の議論は、生命倫理や医療倫理の領域で、欧米圏での議論が中心であったが、本論集はその枠組みを 超えて、高齢者やジェンダーなどの社会問題から、人権、正義、法、プラトンやハイデガーなどの哲学における概念の再構築、 儒教、仏教、イスラーム、そして文学や動植物ら被造物の「尊厳」を論じる。問いを新たに惹起して諸問題の議論を継続する「問 いとしての尊厳概念」を創出する。 【哲学·社会】

☆関連書:セイラ・ベンハビブ『逆境の中の尊厳概念』、加藤泰史・後藤玲子編『尊厳と生存』(小局刊)。

部数

法政大学出版局 **2024年3月25日配本** 定価4400円(本体4000円+税)

A5判上製·334頁

本多康作、八重樫徹、谷岡知美 編著

イトスピーチの何が問題なのか 言語哲学と法哲学の観点から ISBN978-4-588-15136-1 C1010

「言論の自由」や「表現の自由」との関係など、法規制の是非も含め、ヘイトスピーチをめぐる議論は錯綜している。 ヘイトスピー チそれ自体の悪さは、話し手の意図にあるのか、言葉それ自体にあるのか、言葉において実行される行為にあるのか、あるいは その行為が惹き起こす結果にあるのか。言語哲学、法哲学、情報学、文学の学際的観点から、ヘイトスピーチと差別に関する 問題の本質を究明する。 【哲学·社会】

☆関連書:池田喬・堀田義太郎 『差別の哲学入門』 (アルパカ)、ヘルマン 『差別はいつ悪質になるのか』 (小局刊)。

部数

法政大学出版局 **2024年3月29日配本** 定価5170円(本体4700円+税)

A5判上製·634頁

水野 的 著

日本人は英語をどう訳してきたか 訳し上げと順送りの史的研究 ISBN978-4-588-44506-4 C1082

幕末・明治以降、近代日本の英語翻訳規範はどのように形成され、訳出の技法はどう展開してきたのか。読み手に負担を強いる 「訳し上げ」 規範の圧倒的優位に対抗すべく打ち出されてきた「順送りの訳」 の有効性を、800点を超える英語翻訳研究書や 手引き書を批判的・網羅的に分析することで明確に打ち出し、議論に終止符を打つ画期の書。日本通訳翻訳学会会長を務め た著者のライフワーク、ついに刊行! 【翻訳学】

☆関連書:柳父章・水野的・長沼美香子編『日本の翻訳論──アンソロジーと解題』(小局刊)。

ご担当者様 氏名:

担当ジャンル:

] TEL:[

Fax. 03-5214-5542

【お願い】-配本の際、ご担当者様の記名が必要となりました。 ご面倒とは存じますが、ご担当者様蘭のご記入をお願い申し上げます。

〒 102-0073 東京都千代田区九段北 3-2-3

Tel. 03-5214-5540 E-mail: sales@h-up.com URL: https://www.h-up.com/